

愛知県知多郡東浦町

ダイバーシティを積極的に推進 従業員のやる気を引出す実力主義を採用

民間企業からの産業廃棄物の収集運搬や再生処理事業、自治体からの一般廃棄物収集運搬、家電リサイクル、下水道・浄化槽メンテナンスを主業務とする。安全に使用できるリサイクルガラス造粒砂「サンドウエーブG」は、透水・蒸発時のヒートアイランド抑制など、安心安全な生活基盤を提供する。地球環境の保全に取り組む企業として、小学校への出前講座・社会見学の実施、地域ゴミゼロ運動への参加など積極的な社会貢献活動を行う。

●所在地	愛知県知多郡東浦町 大字藤江字ヤンチャ28番地の1	●設立	1961年
●電話/FAX	0562-83-3880/0562-83-8911	●資本金	5,000万円
●URL	https://www.toei-eco.co.jp	●従業員数	290人
●代表者	代表取締役 今津 真治		



担い手確保

女性の活躍とダイバーシティを推進

ダイバーシティの観点から女性を主要なポジションに配置。役員6名中、女性役員を2名任命している。また高齢者・外国人、障がい者についても積極的に採用。60歳以上の従業員は全従業員の10%を占め、65歳までの再雇用を実施している。外国人は、日本の大学を卒業した新卒2名、日系外国人2名、技能実習生10名が活躍する。障がい者について特別支援学校から10名を新卒採用したほか、半田市社会福祉協議会の協力のもと、障がい者雇用フォーラムを開催して積極的な採用を続けている。



障がい者雇用フォーラムを開催し人材確保

実力主義の昇進により従業員のやる気を引出す

従業員のモチベーションを高める人事制度として、採用時からの実力主義を一貫している。外国人であっても日本人と同等に扱い、女性も役員への登用があるなど、様々な人材に力を発揮する機会が与えられる。高齢者についても希望に応じて雇用の延長の機会が与えられるなど、実力を重視した姿勢は変わらない。新入社員へのマンツーマン指導では、後輩社員のやる気が先輩社員の刺激になるなど、先輩・後輩双方にとってモチベーション向上に繋がっている。



社内教育によって実力のある人材を育成

マンツーマン指導により、技術力・定着率の向上を実現

新入社員は入社後、外部の社員教育機関に1か月程度派遣し社会人としての基本的なマナーを習得する。これと同時に4~9月までブラザーシスター制度（先輩によるマンツーマン指導）が実施され、日報によってスキルアップをチェックしている。年の近い先輩社員が新入社員の悩みをフォローすることで定着率が高まるとともに、教える側にとっても勉強となる制度によって着実な人材育成を実現している。



出前環境講座は社員の社会貢献意識を醸成

サービス